

# 安全データシート

作成日 2009年10月30日  
改訂日(第6版) 2015年9月11日

## 1. 化学品及び会社情報

製品名 フマキラーサニタリーEP水性乳剤

会社名 フマキラー株式会社  
住所 広島県廿日市市梅原一丁目11番13号  
担当部門 品質保証室  
担当者 下田博司  
電話番号 0829-55-3438  
FAX番号 0829-55-2432

## 2. 危険有害性の要約

### G H S 分類

物理化学的危険性		
爆発物		分類対象外
可燃性/引火性ガス		分類対象外
エアゾール		分類対象外
支燃性/酸化性ガス		分類対象外
高圧ガス		分類対象外
引火性液体		分類対象外
可燃性固体		分類対象外
自己反応性化学品		分類対象外
自然発火性液体		分類対象外
自然発火性固体		分類対象外
自己発熱性化学品		分類対象外
水反応可燃性化学品		分類対象外
酸化性液体		分類対象外
酸化性固体		分類対象外
有機過酸化物		分類対象外
金属腐食性物質		分類できない
健康に対する有害性		
急性毒性(経口)		区分外
急性毒性(経皮)		分類できない
急性毒性(吸入: 気体)		分類対象外
急性毒性(吸入: 蒸気)		分類できない
急性毒性(吸入: 粉じん)		分類対象外
急性毒性(吸入: ミスト)		分類できない
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		区分外
呼吸器感作性		分類できない
皮膚感作性		区分外
生殖細胞変異原性		分類できない
発がん性		分類できない
生殖毒性		分類できない
特定標的臓器毒性、単回ばく露		分類できない
特定標的臓器毒性、反復ばく露		分類できない
吸引性呼吸器有害性		分類できない
環境に対する有害性		
水生環境有害性(急性)		区分2
水生環境有害性(長期間)		区分2
オゾン層への有害性		分類できない

## GHSラベル要素

## 絵表示又はシンボル



## 注意喚起語

なし

## 危険有害性情報

水性生物に毒性  
長期的影響により水性生物に毒性

## 注意書き

医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと  
子供の手の届かないところに置くこと  
使用前にラベルをよく読むこと  
環境への放出を避けること  
内容物/容器/洗浄液は自治体の条例や指導に従って処分すること

## 3. 組成、成分情報

## 化学物質・混合物の區別

混合物

## 化学名又は一般名

業務用防疫剤(容量:6Lおよび18Lの2種類)

成分名	含有率	別名	化学特性
エトフェンプロックス	7%	2-(4-エトキシフェニル)-2-メチルプロピル 3-フェノキシベンジル エーテル	<chem>C2H5OC6H4C(CH3)2OCH2C6H4OC6H5</chem>
プロピレンジリコール	10~20%	1,2-プロパンジオール	<chem>C3H8O2</chem>
クエン酸アセチルトリブチル	8~20%		<chem>C20H34O8</chem>
ポリオキシエチレン多環フェニルエーテル	10~20%		
アルキルベンゼンスルホン酸塩	5~15%		
1,2-ベンズイソチアゾリジン-3-オン	1%以下		
ジプロピレンジリコール	1%以下		
水	40~50%		

成分名	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.	化学物質管理促進法 指定化学物質	労働安全衛生法57条 の2第1項通知対象物
エトフェンプロックス	化審法 3-3981 安衛法 4-(14)-178	80844-07-1	政令番号1-64	政令番号第86号
プロピレンジリコール	化審法 2-234	57-55-6	対象外	対象外
クエン酸アセチルトリブチル	化審法 2-1327	77-90-7	対象外	対象外
ポリオキシエチレン多環フェニルエーテル	非公開	非公開	対象外	対象外
アルキルベンゼンスルホン酸塩	非公開	非公開	対象外	対象外
1,2-ベンズイソチアゾリジン-3-オン	化審法 9-1845	2634-33-5	対象外	対象外
ジプロピレンジリコール	化審法 2-413	106-62-7	対象外	対象外

**危険有害成分**

エトフェンプロックス

**4. 応急措置****吸入した場合**

直ちに毛布などでくるんで安静にさせ、新鮮な空気の場所に連れて行く。状況に応じて医師の診断を受ける。

**皮膚に付着した場合**

直ちに汚染された衣類や靴を脱がせ、触れた部分を石鹼で洗い、水で洗い流す。必要に応じて医師の診断を受ける。

**眼に入った場合**

直ちに流水で十分に洗眼し、医師の診断を受ける。

**飲み込んだ場合**

吐かせずに直ちに医師の診断を受ける。

**5. 火災時の措置**

可燃性ではないが、加熱されると有害な蒸気が発生する可能性がある。

**消火剤**

燃焼している物質に適切な消化剤を使用する。

**使ってはならない消火剤**

加熱により容器が破裂するおそれがある。

**火災時特有の危険有害性**

加熱されると有害な蒸気が発生する可能性がある。

魚毒性が高い成分を含有しているため、消化水が河川等に流入しないように気をつける。

**特定の消火方法**

危険でなければ火災区域から容器を移動する。

容器が熱に晒されているときは、移さない。

安全に対処できるならば着火源を除去すること。

適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。

**消防を行う者の保護****6. 漏出時の措置****人体に対する注意事項**

直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。

関係者以外の立入りを禁止する。

屋内など密閉された場所の場合は、処理が終わるまで充分に換気する。

皮膚のかぶれ、目や呼吸器の粘膜への刺激などを起こす場合がある。

環境中に放出してはならない。回収・中和 不活性材料(例えば、乾燥砂又は土等)で流出物を吸収して、化学品廃棄容器に入れる。

魚毒性があるので、漏出物や線浄水を河川や下水に流してはいけない。

措置は保護メガネ、防毒マスク、ゴム手袋、保護靴等の保護具を着用して行い、オガクズ、土砂等の適当な吸収材で直ちに吸着させる。その後、汚染した箇所を多量の水で洗い流す。使用した吸収材、洗浄水は全て密閉できる容器に回収する。廃棄は「廃棄上の注意」の項に従って行う。

**環境に対する注意事項****封じ込め及び浄化の方法****7. 取扱い及び保管上の注意****取扱い****技術的対策**

(大量の取扱いの場合)

容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えるなどの乱暴な取扱いをしないこと。

魚介類および有用生物(蚕、ミツバチ)に対する毒性が強いため、環境生物への影響に注意する。

**●ハエ成虫・蚊成虫**

直接噴霧: 50~100倍液を害虫に向けて適宜噴霧する。

残留噴霧: 10倍液を1m<sup>2</sup>あたり50mLの割合でハエ成虫や蚊成虫のよく止まる天井や壁等の全面にあらかじめ噴霧する。**●ゴキブリ、ノミ、トコジラミ(ナンキンムシ)、イエダニ、マダニ**残留噴霧: 室内の床、畳の表、畳の敷合せ目、部屋の天井、壁、押入れなど害虫の生息または発生しやすい場所の全面に、10倍液を1m<sup>2</sup>あたり50mLの割合であらかじめ噴霧する。**技術的対策**

(製品の使用方法)

## 安全取扱い注意事項

(製品の使用上の注意)

### 〈してはいけないこと〉

●薬剤を口や目に入れないこと。●希釈するときは、水がはね返らないようにして均一に攪拌し、手や指で直接かき混ぜるようなことはしないこと。小分けしたり希釈する容器は専用のものとし、他と兼用しないこと。

### 〈相談すること〉

●万一、誤って薬剤を飲み込んだ場合は、吐かせずに直ちに医師の診察を受けること。●薬剤の使用により頭痛、目や喉の痛み、咳、めまい、吐気、気分が悪くなつた場合などには、直ちに使用を中止し、清浄な空気の場所で安静にして、医師の診療を受けること。●医師の診療を受ける際には、本剤が有機溶剤を含む製剤であること、および使用薬剤の名称、成分名、症状、被爆状況について出来るだけ詳細に医師へ告げること。

### 〈その他の注意〉

●使用前に必ずラベルをよく読み、薬剤の性質、使用方法、注意事項を熟知してから、作業を開始すること。使用上の注意事項を厳守すること。●定められた効能または効果に従い、用法および用量を厳守して使用すること。間違った使い方をすると、効力不足や健康を害することがあります。繰り返し使用する場合は、1週間以上間隔をあけて使用する。●環境を汚染しないために乱用を避けること。また、養殖池、井戸、地下水などを汚染するおそれのある場所、蜜蜂、蚕(桑)、水棲生物などに被害を及ぼすおそれのある場所では使用しないこと。●希釈した液は不安定なので、必要量だけ分取して調製し、直射日光のもとに放置せず、その都度使い切ること。アルカリ性の下では分解しやすいので石けん液等の混入を防ぐこと。●本剤と他の薬剤とを混合したり、加熱したりしないこと。●病人、特異体質者、妊婦、乳幼児などは、薬剤の影響のない場所に移動させること。●次の方は取り扱わないように行うこと。  
・じんましん、かぶれ、気管支ぜんそく、偏頭痛などを起こしやすい体质の方。  
・過去に塗料、洗剤、薬などによるアレルギー症状(発疹、かゆみなど)を経験した方。  
・体の調子の悪い方や睡眠不足の方。  
●食品、食器、飼料、おもちゃ、寝具、衣類、愛玩動物、観賞魚、美術品、楽器、電気製品などはあらかじめ他に移すか、あるいは格納し、薬剤がかからないようにすること。  
●プラスチック、ゴム、塗装面、コンクリート、石材、白木、壁紙などを変形、変色させる場合があるので、変色させではない建築物、外装材、建具、家具などには覆いをするなどの処置をし、薬剤がかからないようにすること。  
万一、薬剤がかかった場合はすぐにふき取ること。  
水道や下水等の配管にかかった場合はすぐに洗うこと。  
また、植物にかかった場合は枯れることがあるので注意すること。  
●本剤は、皮膚につくとかぶれたり、また目や呼吸器の粘膜を刺激することがあるので、使用に際しては、長袖の作業衣、作業帽、保護メガネ、有機溶剤用防毒マスク、保護靴、ゴム手袋などの保護具を必ず着用し、身体の露出部分を少なくして、薬剤を浴びないようにするとともに、できるだけ吸い込まないように注意すること。  
●薬剤が皮膚に付いたときは、直ちに石けんと水でよく洗うこと。  
●薬剤が目、口などに入った場合には直ちに水でよく洗うこと。  
作業中に大量の薬剤を浴びた場合には、直ちに汚染した衣類を脱ぎ、石けんと水でよく洗うなどして体に付着した薬剤を洗い落とし、清潔な衣類に着替えること。  
いずれの場合も、医師の診療を受けること。  
●本剤には有機溶剤が含まれており、長時間その匂いを嗅ぐと頭痛、めまい、吐き気などを起こすことがあるので、換気が悪い場所での作業では、十分換気するよう配慮し、処理後は必ず十分換気すること。  
●使用後は、必ずうがいをし、顔や手などの皮膚の露出部分を石けんと水でよく洗うこと。  
●希釈や薬剤処理に用いた機械器具類は石けん水でよく洗い、手入れをすること。  
●使用済の空容器などは、石けん水でよく洗い、小児が触れないようにするとともに、他に転用しないこと。  
汚染した器物や洗浄液は、作業現場から持ち帰り、処分に当たっては、自治体の条例や指導に従って処分すること。  
決して、河川、湖沼、下水道などの水系や地下水を汚染するおそれのある場所には、捨てないこと。  
●本剤は魚毒性があるので、使用後残った希釈液や散布に用いた機材および使用済みの容器等を洗った液は魚等が生息している場所に捨てないこと。

**保管****適切な保管条件  
(製品の保管上の注意)**

●使用後に残った薬剤原液は、ラベル表示のある元の容器に密封し、食品、食器、飼料など他のものと区別して保管すること。●小児の手の届かない場所に保管すること。●直射日光の当たらない乾燥した涼しい場所に保管すること。●0°C以下では凍る場合があるので注意すること。万一凍結した場合、温湯であたためて解かし、製剤容器をよく振って使用してください。(あたためる際には、必ず容器の栓をはずしておくこと。)●盗難、紛失などの事故を防ぐ為に、なるべく倉庫に施錠して保管すること。

**8. 暴露防止及び保護措置****管理濃度** [エトフェンプロックス] 未設定**許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)**日本産業衛生学会 [エトフェンプロックス] 3mg/m<sup>3</sup>(2008年版)

ACGIH [エトフェンプロックス] 未設定

**設備対策****保護具**

呼吸器の保護具 有機溶剤用防毒マスク

手の保護具 保護手袋

眼の保護具 保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具 長ズボン、長袖の作業着、作業帽、保護靴

**9. 物理的/化学的性質****外観****物理的状態**

液体

**色**

微黄色～褐色の粘性のある透明な液体

**臭い**

特異な臭いを有する

**pH**

4.0～8.0(1→20)

**溶解性****水**

水を加えると乳化する

**比重**

1.062(20°C)

**10. 安定性及び反応性****安定性** 自然条件下で安定**反応性** 特になし**避けるべき条件** 光、高温、高湿度**11. 有害性情報****製品****急性毒性**経口 ラット♂♀ LD<sub>50</sub>: >2,000mg/kg(死亡例なし)経口 マウス♂♀ LD<sub>50</sub>: >2,000mg/kg(死亡例なし)経皮 ラット♂♀ LD<sub>50</sub>: >2,142mg/kg(死亡例なし)経皮 マウス♂♀ LD<sub>50</sub>: >2,142mg/kg(死亡例なし)吸入 ラット♂♀ LC<sub>50</sub>: >5,062mg/m<sup>3</sup>(死亡例なし)吸入 ラット♂♀ NOEL: <30.8 mg/m<sup>3</sup>

モルモット♂: 感作性なし

ウサギ 0.5mL/4H(半閉塞貼布) 刺激性なし/腐食性なし

ウサギ 0.1mL(非洗眼) 刺激性なし

**亜急性毒性****皮膚感作性****皮膚刺激性/腐食性****眼刺激性****エトフェンプロックス****急性毒性**経口 ラット♂♀ LD<sub>50</sub>: >42.88g/kg経口 マウス♂♀ LD<sub>50</sub>: >107.2g/kg経皮 ラット♂♀ LD<sub>50</sub>: >2.14g/kg吸入 ラット♂♀ LC<sub>50</sub>: >5.9g/m<sup>3</sup>

皮膚刺激性/腐食性	ウサギ 刺激性なし/腐食性なし
眼刺激性	ウサギ 刺激性なし
感作性	モルモット 隆起性
変異原性	エーモズ試験 隆起性 染色体異常試験 隆起性 DNA損傷 隆起性
催奇形性	なし
生殖毒性	なし
プロピレングリコール	
急性毒性	経口 ラットLD <sub>50</sub> : 20,000mg/kg 経口 マウスLD <sub>50</sub> : 20,300mg/kg
クエン酸アセチルトリブチル	
急性毒性	経口 ラットLD <sub>50</sub> : >32g/kg

## 12. 環境影響情報

水性環境急性有害性	[エトフェンプロックス](コイ) LC <sub>50</sub> (96h) 0.141mg/L [エトフェンプロックス](オオミジンコ) EC <sub>50</sub> (48h) 3.66 μg/L [エトフェンプロックス](藻類) ErC <sub>50</sub> (0-72h) >150mg/L [プロピレングリコール](ヒメダカ) LC <sub>50</sub> (96h) >100mg/L [1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オノン](甲殻類) LC <sub>50</sub> (48h) 0.99mg/L
-----------	--

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	魚毒性があるので、内容液を河川や下水に流してはならない。 内容液は危険物ではないが、加熱されると有害な蒸気が発生する可能性があるため廃ガス処理設備のついた焼却炉で焼却する。 着火源となる火気や静電気の発生を防止した処理設備で、防爆構造の破碎機等を使用し、排出された可燃性ガスが爆発濃度に達しないよう措置を講じる。 大量に廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容液を除去して完全に乾燥させた後とすること。
汚染容器及び包装	

## 14. 輸送上の注意

国際規制	
国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
国内規制	
陸上規制情報	非危険物
海上規制情報	非危険物
航空規制情報	非危険物
一般的注意事項	容器の破損、漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷くずれの防止を確実に行う。

## 15. 適用法令

薬事法	防除用医薬部外品
労働安全衛生法	[エトフェンプロックス]名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)(政令番号:9-86)
化学物質管理促進法	[エトフェンプロックス]施行令第1条別表第1第1種指定化学物質(政令番号:1-64)

## 16. その他の情報

### 引用文献等

防除用医薬部外品申請書(フマキラーサニタリーEP水性乳剤)

エトフェンプロックス MSDS

プロピレングリコール 化審法データベース

クエン酸アセチルトリブチル MSDS

乳化剤 MSDS

1,2-ベンズイソチアゾリン-3-オン MSDS

記載内容は現時点入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関してはいかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱を対象としたものです。この製品安全データシートは法令の改正、新しい知見にもとづいて改訂されることがあります。